

事業の概要及び再評価に係る資料

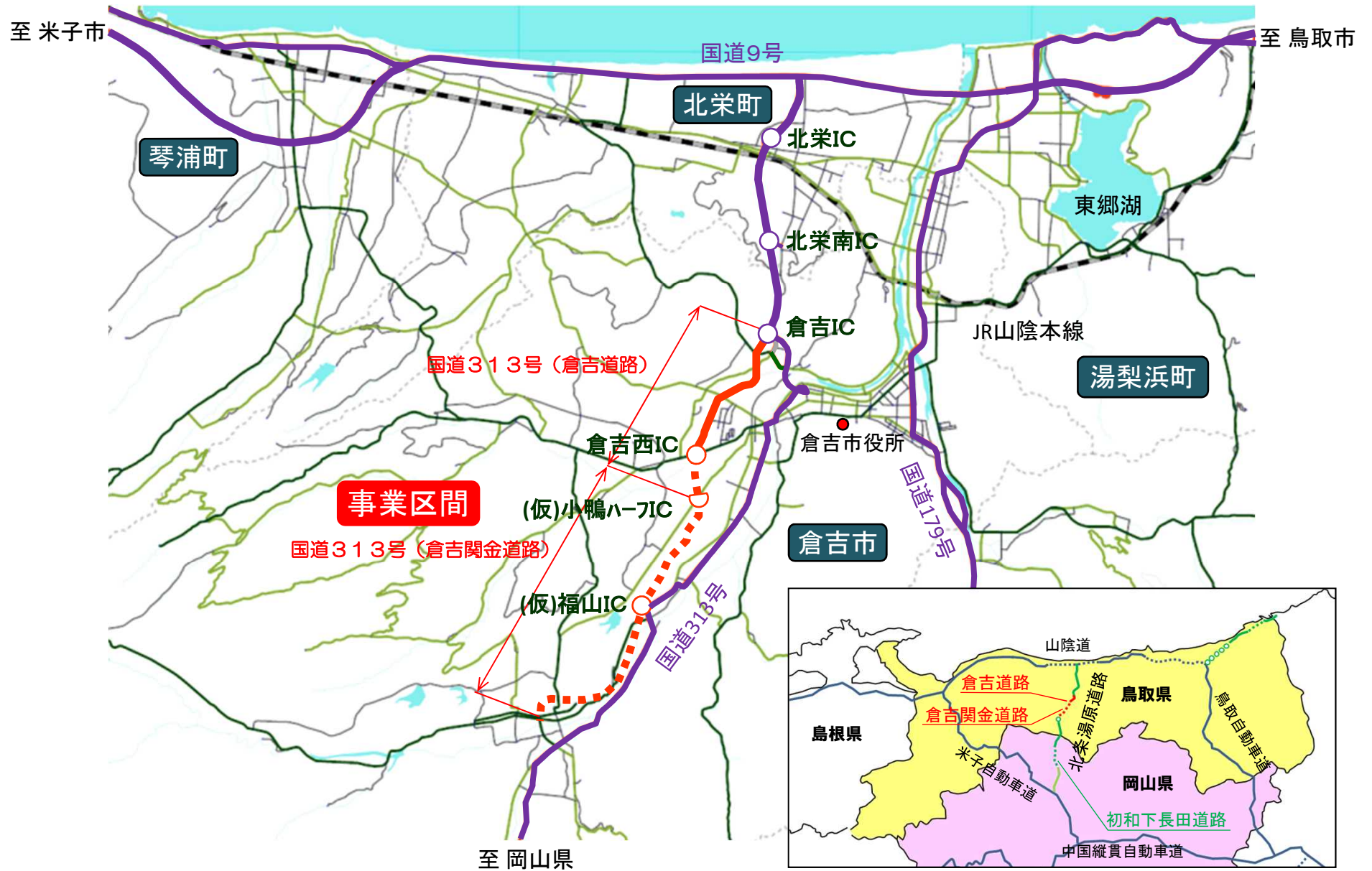
事業名	一般国道313号改築事業(倉吉関金道路)	事業箇所	くらし 倉吉市	せきがね 関金町	ちよぎ 関金宿	ねしゆく 小鴨	おがも	
再評価対象理由	社会情勢の変化等により知事が必要と認めるため							
未着工または事業が長期化している理由等								
事業の概要	事業目的	当該路線は、鳥取県北栄町から岡山県真庭市に至る全長約50kmの地域高規格道路「北条湯原道路」で、中国縦貫自動車道、米子自動車道、山陰自動車道と併せて循環型ネットワークを形成する路線であり、鳥取県中部地域の観光・産業振興、岡山県真庭地方生活圏と鳥取県中部地方生活圏との交流にも不可欠な幹線道路である。 倉吉市関金町関金宿から小鴨の当該区間は、沿線地域住民の通勤通学や日常生活においても利用者が多い区間であるが、沿線には人家や商店が連坦し、道路幅員も狭く、多くの市道が交差するため、域内交通と通過交通の混在による交通混雑が朝・夕の通勤時間帯を中心に発生し、交通事故が多発している地域である。 倉吉関金道路は、このような通過交通と域内交通の分離を図り、線形不良区間、事故多発区間の解消と、円滑な交通の確保により地域間の交流連携強化を図る目的とした全延長7.0kmの自動車専用道路を整備するものである。						
	事業実施内容	延長 L= 7,010 m 幅員 W= 7.0 (13.5) m						
	事業費負担区分	国 55 % 県 45 %						
	計画交通量	【算定中】						
事業進捗状況	事業採択年度	H23	着工年度	H23	完成予定年度	H35	事業期間	13年
	当回事業費	123.6 億円			投資事業費	9.5 億円(平成25年度末)		
	現計画全体事業費(見直し後)	166.6 億円 【精査中】				(進捗率 5.7%)		
	事業進捗状況	【I期区間】 用地進捗率: 55.2% 工事進捗率: 2.4% (H25年度末見込み)						
事業を巡る社会経済情勢等の変化	現状での課題	-						
	地域の協力体制	・ I期区間については、地元関係者の協力がほぼ得られている。 ・ II期区間については、未着手である。						
	関連事業との整合の変化	〔北条湯原道路関連〕 国道313号倉吉道路(倉吉IC~倉吉西IC間)が、平成25年6月8日に開通 国道313号初和下長田道路(岡山県)が、平成24年度に事業着手 〔アクセス道路〕 県道仙隠岡田線(北野工区)が、平成23年度に事業着手						
	地域の事業に対する社会的評価	交通量分散を図ることなどにより、現道交通の分散による現道周辺地域の混雑の解消、交通安全の向上と沿道環境改善に貢献するものと期待されている。						
	その他	(仮称)小鴨ハーフIC~(仮称)福山IC間(L=3.0km)は、倉吉道路の倉吉西IC~(仮称)小鴨ハーフIC間(L=0.8km)と一括して開通予定						
費用対効果分析の要因変化	(費用)	①事業着手後の詳細設計に伴う構造物変更(盛土⇒橋梁)による事業費増(4,300百万円の増)						
	(効果)	①将来交通量の見直しに伴い直接便益(走行経費節減、走行時間短縮、事故減少)を再算定						
	(費用対効果分析の結果)	費用便益比 B/C=算定中						
コスト縮減等の可能性	①盛土必要土を他の事業箇所より流用することによりコスト縮減 ②再生砕石の利用によりコスト縮減 ③盛土法面の防草対策による将来的な維持管理費の縮減							

# 一般国道313号(倉吉関金道路)

平成26年度公共事業評価委員会(第1回)  
概要説明資料

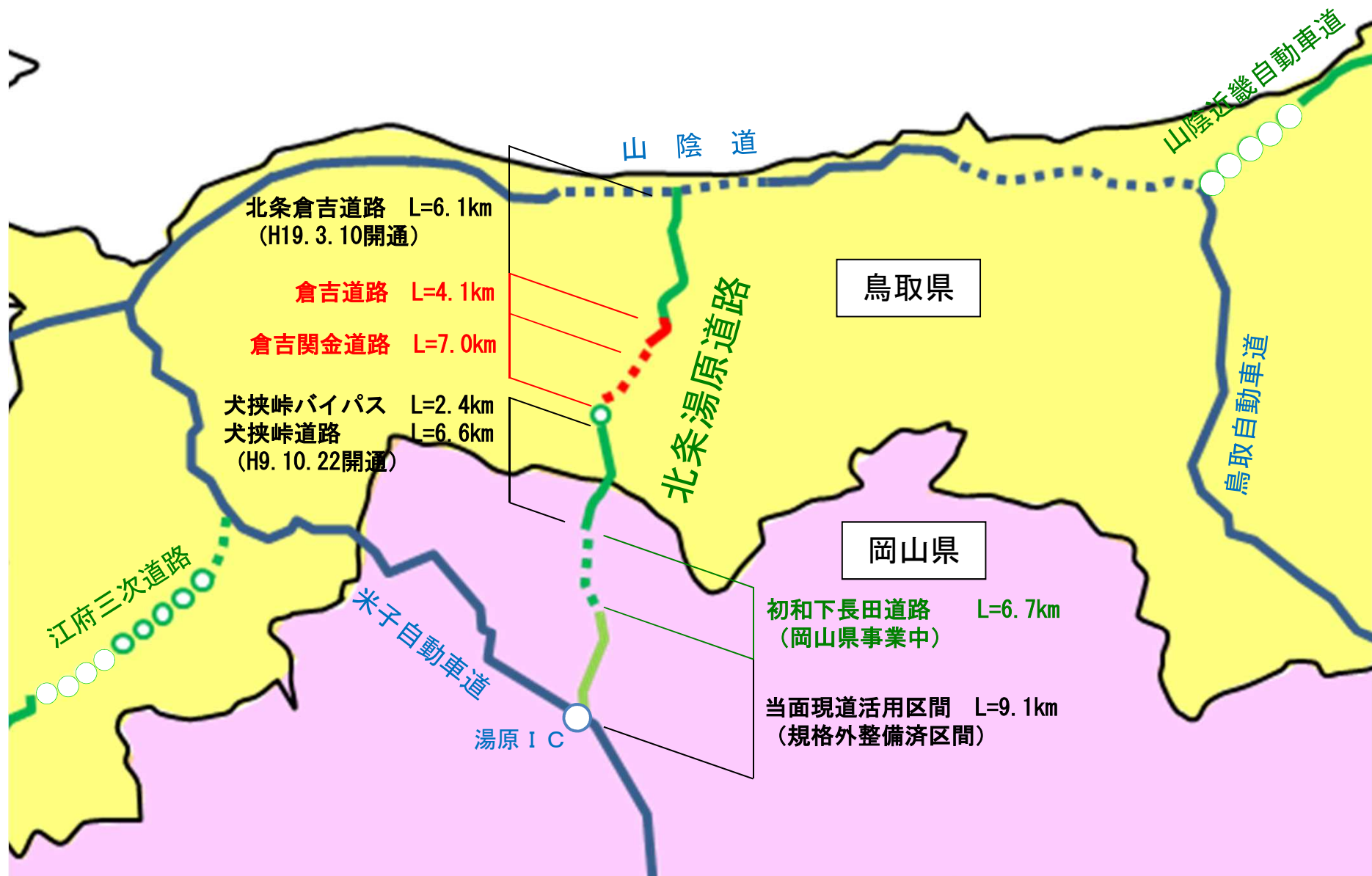
# 1. 位置図

国道313号(倉吉関金道路)



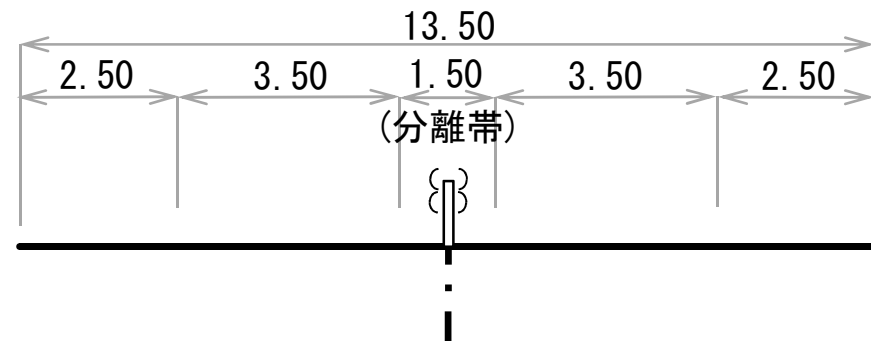
## 2. 北条湯原道路の状況

国道313号(倉吉関金道路)



# 3. 平面図・断面図

国道313号(倉吉関金道路)

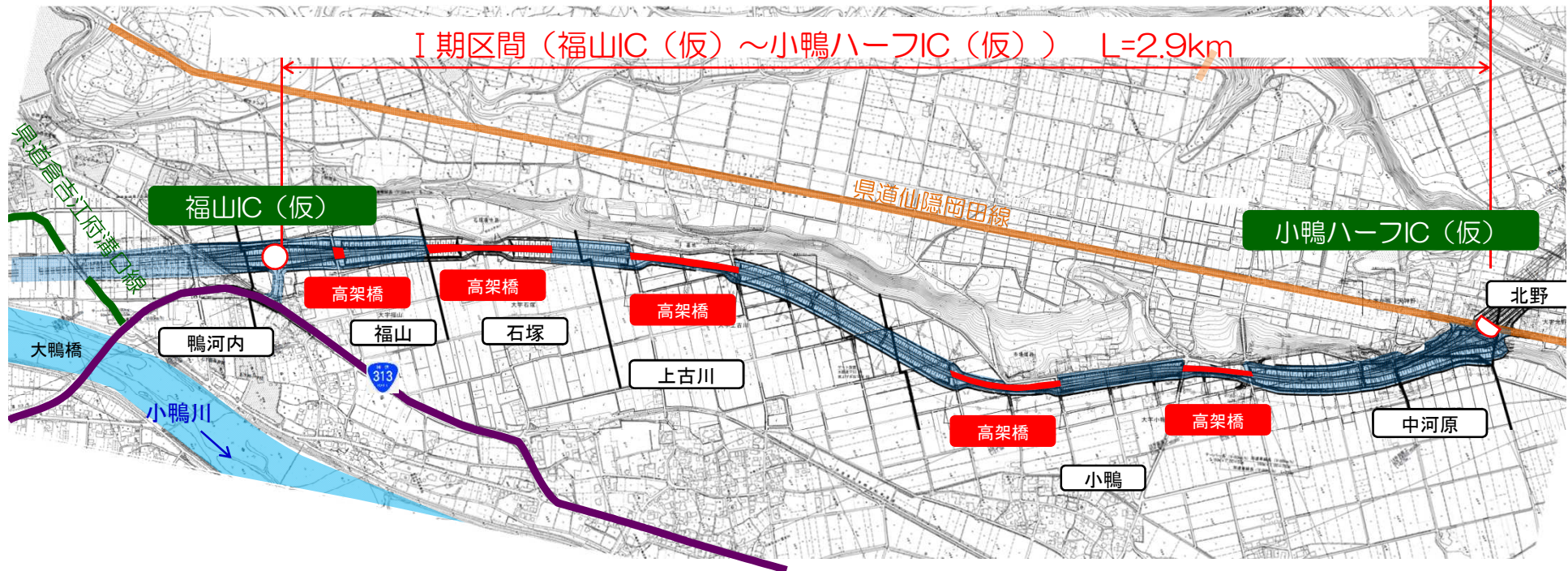


# 4. 増額理由

国道313号(倉吉関金道路)

一般国道313号(倉吉関金道路) 全体計画 L=7.0km W=7.0(13.5)m

I期区間(福山IC(仮)~小鴨ハーフIC(仮)) L=2.9km



## ○事業費増

本事業により地区と墓地を分断する箇所や、道路が住家に近接する箇所など計5箇所において、盛土構造を高架構造へ変更

